

日本共産党の宮川えみ子県議と市民が 「三大明神風力発電施設」建設中の現地を視察

生活用水への影響や土砂災害が心配、地域住民のくらしを第一優先に

この風力発電は、三
大明神山から鶴石山
までの尾根にそって9
基が建設され、風車
までの高さは、140メ

宮川えみ子県議会
議員を先頭に日本共
産党いわき 双葉地区
委員会が7月16日、
参加希望した市民と
ともに23人が、三大
明神風力発電の建設
現場を事業者と建設
業者に案内され、視
察してきました。

分かったことは、風
力発電建設した後も
事業者が道路や施設
を維持管理するこ
と。発電開始後の下

1メートルを超えます。
工事を進めるため
に山を削り、谷を埋め
て7キロを超す工用
道路を構築。そこを準
備されたマイクロバスで
移動し、参加者からの
要望所で下車し、説
明を受け疑問点を聞
きました。

事業者は住民の安全 安心を第
一に進め、最後まで責任を果たす
ことが求められます。日本共産党
は、宮川えみ子県議を先頭に住民

この視察には、多くの市民も参
加。「災害が心配」「入遠野地区は
沢水とか井戸水を利用しているの
で、影響がでたら暮らせない」など
の声が出されました。

工事用道路の盛り土 切り土 すでに土砂 流失や洗堀 のり面崩落などの発生を確認



延長7キロを超える切り開かれた尾根に沿った工事用道路

流の水質検査は1年間だけである
こと。盛り土は10メートル以内に
したとしていること。工事用道路
は、林道として管理し、関係者以
外は入れないこと。撤去するとき
は、基礎のコンクリートは残ること
など様々な問題があることがわか
りました。

視察をする中で、複数力所での
法面崩落や洗堀 土砂流失を確
認。沈砂池も思ったより小さく、
すでに土砂で埋め尽くされている
力所もあり、今後の豪雨での土砂
災害や生活用水の濁りなどの影響
が心配されます。

地域住民の安全 安心を第一 優先のために頑張ります



の立場で、これからも頑張ります。
ご要望をお寄せください。